

**平成 2 3 年度**  
**港湾空港局予算要求方針**

**【目次】**

- 1 平成 2 3 年度港湾空港局予算要求総括表及び経営方針 . . . . 1
  
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの . . . . . 4
  
- 3 事務事業の見直し等 ( 主なもの ) . . . . . 1 0

# 1 平成23年度 港湾空港局予算要求総括表及び経営方針

## (1) 平成23年度港湾空港局予算要求総括表

### 【一般会計】

平成23年度要求総額 7,587,691千円  
 (平成22年度予算額 5,748,546千円)  
 前年度比 +32.0%

### 《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成23年度 予算要求額 (A)	平成22年度 予算額 (B)	増 減 (A - B)
国直轄事業負担金	2,335,500	1,813,850	521,650
臨海部産業用地貸付 特別会計貸付金	1,549,565	0	1,549,565
旧大連航路上屋改 修事業	308,130	310,500	2,370
北九州空港アクセ ス事業	218,000	215,000	3,000
北九州空港航空貨 物拠点化事業	233,669	186,800	46,869
フェリーを活用した CO2 削減推進事業	89,978	83,000	6,978
魅力ある海辺づく りの推進	33,180	22,850	10,330
北九州港港湾計画 改訂事業	16,200	40,000	23,800
グリーンエネルギーポ ート ひびき立地促進事業	18,900	10,000	8,900
(新)アジア貨物等物流 拠点化効果促進事業	10,000	0	10,000
(新)国際RORO 航路誘致事業	6,500	0	6,500

**【港湾整備特別会計】**

平成23年度要求総額 10,162,541千円  
 (平成22年度予算額 9,519,000千円)  
 前年度比 +6.8%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成23年度 予算要求額 (A)	平成22年度 予算額 (B)	増減 (A - B)
ターミナル稼働安定化事業	56,200	88,000	31,800
北九州港利用促進補助事業	81,500	54,600	26,900
響灘東埋立地整備事業	449,000	326,000	123,000
響灘西埠頭用地整備事業	86,000	113,000	27,000
新門司埠頭用地整備事業	99,500	56,000	43,500
太刀浦埠頭用地整備事業	64,000	96,000	32,000
公債償還に係る経費	7,497,966	6,852,023	645,943

**【空港関連用地整備特別会計】**

平成23年度要求総額 5,000千円  
 (平成22年度予算額 5,400千円)  
 前年度比 7.4%

**【臨海部産業用地貸付特別会計】**

平成23年度要求総額 1,833,094千円  
 (平成22年度予算額 214,800千円)  
 前年度比 +753.4%

## ( 2 ) 平成 2 3 年度港湾空港局経営方針

港湾空港局では、「元気発進！北九州」プランの着実な実現に向けて、以下に3つの目標を掲げ、平成23年度の事業に取り組みます。

実施にあたっては、限られた財源を有効に活用し、効率的で実行性のある事業展開を図ります。

### 1 21世紀のものづくりを支える物流拠点都市づくりの推進

北九州港、北九州空港という二つの「みなと」を活用し、アジアなどを見据えた国際競争力のある物流拠点都市づくりを推進していきます。

特に、今後の成長のキーワードである「環境」を切り口として、環境エネルギー産業をはじめとした企業誘致や環境に配慮した物流の促進に取り組みます。

- 都市基盤としての「みなと」の充実・強化
- 「みなと」の需要の拡大
- 環境エネルギー産業をはじめとした企業誘致の促進
- 環境に配慮した物流の促進

### 2 市民の憩う「みなとまちづくり」の推進

平成23年度策定予定の「新・海辺のマスタープラン」に基づき、多くの市民に利用され、親しまれる魅力ある海辺づくりとともに、「みなと」の振興・PRを推進していきます。

- 魅力ある海辺づくりの推進
- 魅力ある臨海部都市空間の創出
- 港の振興・PRの促進

### 3 効率的で安全・安心な港湾経営の推進

港湾施設を有効活用し、効率的で安全・安心な管理運営を行います。

また、港湾整備特別会計について、昨年策定した「経営健全化策」を着実に進めていきます。

- 計画的で効果的な港湾施設整備・維持補修
- 北九州港の効率化推進・機能強化
- 港湾整備特別会計の経営健全化の推進

## 2 重点的に取り組みを行う主なもの

### 1 21世紀のものづくりを支える物流拠点都市づくりの推進

#### ➤ 都市基盤としての「みなと」の充実・強化

##### (1) 物流関連施策の計画・推進

本市の経済活性化、雇用の創出、市民に親しまれる港づくり等を目指して、北九州港のマスタープランである港湾計画（平成8年策定）を社会・経済情勢の変化や市民・企業ニーズを反映させながら見直し、概ね10年後の平成30年代前半を目標とする新しい計画を策定します。

- 2・継続	北九州港港湾計画改訂事業	16,200 千円
--------	--------------	-----------

社会状況の変化を捉えた先進的な物流システムについて調査研究を行うと共に、本市が有する物流施設の利活用などを推進し、企業ニーズに応えられる総合的な物流施策に取り組みます。

- 1・継続	物流拠点都市づくり推進事業	12,480 千円
--------	---------------	-----------

##### (2) 「みなと」の基盤整備・強化

国が行う新若戸道路、響灘東道路、新門司航路、田野浦岸壁等や北九州空港の整備について、地元負担を行います。

- 2・継続	国直轄事業負担金	2,335,500 千円
--------	----------	--------------

- 2・継続	空港整備事業地元負担金	18,742 千円
--------	-------------	-----------

北九州港の機能拡充のため、太刀浦コンテナターミナルの岸壁、ヤードの改良や新門司地区の埠頭整備等を実施します。

- 2・継続	港湾改修（特重）事業	153,900 千円
--------	------------	------------

- 2・継続	港湾改修（統合補助）事業	219,750 千円
--------	--------------	------------

- 2・新規	埠頭保安設備整備事業	17,533 千円
--------	------------	-----------

- 2・継続	新門司埠頭用地整備事業（港湾特会）	99,500 千円
--------	-------------------	-----------

- 2・継続	響灘西埠頭用地整備事業（港湾特会）	86,000 千円
--------	-------------------	-----------

- 2・継続	太刀浦埠頭用地整備事業（港湾特会）	64,000 千円
--------	-------------------	-----------

##### (3) 産業空間の創出

物流機能の強化と併せて、企業活動の拠点としての臨海部の積極的な利活用を推進し、企業ニーズに対応した産業用地の確保、環境の向上に資する緑地の整備を行います。

- 1・継続	港湾環境整備事業	261,820 千円
- 1・新規	響灘東地区南緑地（ピオトープ）環境整備事業	100,000 千円
- 3・継続	新門司埋立地造成事業（港湾特会）	72,000 千円
- 3・継続	響灘西埋立地造成事業（港湾特会）	115,000 千円
- 3・継続	響灘東埋立地整備事業（港湾特会）	449,000 千円

#### （４）防災対策の充実

災害に強い都市づくりの一環として、臨海部における高潮等の災害から市民の生命や財産を守るための護岸や緑地の整備を進めます。

- 1・継続	海岸（高潮）事業	143,900 千円
- 1・継続	港湾環境整備事業（再掲）	261,820 千円

#### （５）廃棄物処分場の維持管理

廃棄物の適正処理のため、響灘地区廃棄物処分場の維持管理を行います。

- 3・継続	廃棄物処分場整備事業	57,000 千円
--------	------------	-----------

### ➤ 「みなと」の需要の拡大

#### （１）北九州港の利用促進

北九州港の利用促進に向けた集貨・創貨、航路誘致などを促進する施策を実施します。

輸出産業の国際競争力を支える輸送モードとして重要性が増す国際 RORO 船のアジア航路誘致に取り組みます。

また、北九州港の貨物取扱量の増加やコンテナターミナル稼働の安定化を図るための助成を行います。

- 2・新規	国際 RORO 航路誘致事業	6,500 千円
- 2・継続	北九州港官民連携事業	12,610 千円
- 2・継続	ポートセールス事業	10,117 千円
- 2・継続	北九州港 P R 事業	5,788 千円
- 2・拡充	北九州港利用促進補助事業（港湾特会）	81,500 千円
		（うち拡充分 26,900 千円）
- 2・継続	ターミナル稼働安定化事業（港湾特会）	56,200 千円

(2) 北九州空港の利用促進・集客対策

北九州空港の利用者拡大のため、路線周知、旅行商品の造成及びPR、キャンペーン支援等を実施します。

国内路線はビジネス需要の拡大、国際路線は、日本人の利用者の拡大を図ります。

また、既存路線の維持に力を入れるとともに、新規路線誘致のためのエアポートセールスを実施します。

- 2 ・ 拡 充	北九州空港利用促進・集客対策事業	146,130千円 (うち拡充分43,662千円)
- 2 ・ 拡 充	北九州空港路線誘致事業	58,374千円 (うち拡充分9,969千円)

北九州空港の航空貨物拠点化の推進

航空貨物拠点化に向けて、滑走路延伸を見据えた実績づくりに力を入れていきます。そのため、福岡県、苅田町と共同で、航空貨物の定期便の維持や誘致を行い、集貨促進を図ります。

- 2 ・ 拡 充	北九州空港航空貨物拠点化事業	233,669千円 (うち拡充分46,869千円)
-----------	----------------	------------------------------

空港アクセスの利便性向上

北九州空港へのアクセスの利便性の向上のため、エアポートバスの運行補助や総合的なアクセスに関する基本調査を行います。

- 2 ・ 継 続	北九州空港アクセス事業	218,000千円
-----------	-------------	-----------

➤ 環境エネルギー産業をはじめとした企業誘致の促進

北九州港の利活用を促進し、雇用創出、地域経済の活性化を図るため、企業誘致活動を積極的に行い、臨海部産業用地への企業立地を推進します。

今後、世界的に成長が見込まれる環境エネルギー産業の立地・物流拠点化を進めます。

また、経済成長の著しいアジアの輸出入貨物の拠点形成を目指して、関連企業の誘致に新たに取り組みます。

- 1 ・ 継 続	グリーンエネルギーポートひびき立地促進事業	18,900千円
- 2 ・ 継 続		
- 1 ・ 新 規	アジア貨物等物流拠点化効果促進事業	10,000千円
- 1 ・ 継 続	臨海部産業用地貸付特別会計貸付金	1,549,565千円
- 1 ・ 継 続	企業誘致活動事業	14,663千円

➤ 環境に配慮した物流の促進

本市が有する充実した物流基盤（フェリー、RORO、外航コンテナ航路網）を活かした「環境に配慮した物流」を推進し、北九州港の利用促進とCO2削減を図ります。

そのため、フェリー、コンテナ、RORO輸送に対するインセンティブとなる制度を実施します。

- 2・拡充	モーダルシフト推進補助事業	18,000 千円
- 2・拡充		(うち拡充分 8,000 千円)
- 2・新規	国際 RORO 航路誘致事業（再掲）	6,500 千円
- 2・拡充	フェリーを活用した CO2 削減推進事業	89,978 千円
- 2・拡充		(うち拡充分 6,978 千円)

2 市民の憩う「みなとまちづくり」の推進

➤ 魅力ある海辺づくりの推進

平成 23 年度に策定予定の「新・海辺のマスタープラン」に掲げるコンセプト「～海辺を舞台に憩い・学び・遊ぶ！～魅力ある海辺をめざして」に基づき、多くの人々が訪れる魅力ある海辺づくりを実施します。

本年度は、海辺の利用者の意見を聞きながら、海辺のルールづくりの検討に取り組みます。

洞海湾での環境修復体験教室やその他の環境修復手法の検討も実施します。

多くの人々に親しまれ、賑わうみなとづくりのため、市民の海への理解を深める P R 事業を実施します。

- 1・新規	新・海辺のマスタープラン推進事業	11,000 千円
- 1・継続	市民参加による魅力的な水際線づくり事業	3,300 千円
- 1・継続	市民参加による洞海湾の環境修復検討事業	4,300 千円
- 1・継続		
- 4・継続		
- 4・継続	北九州港市民 P R 事業	14,580 千円

➤ 魅力ある臨海部都市空間の創出

臨海部において、門司港レトロ観光まちづくりプランなどと連携して、都市の魅力を高める施設を整備します。

- 4・継続	旧大連航路上屋改修事業	308,130 千円
- 1・継続	港湾環境整備事業（再掲）	261,820 千円

➤ 港の振興・PRの推進

市民に海やみなとへの理解を深めてもらい、みなとの賑わいを創出するため、船舶の公開や、海の日記念事業等を実施します。

北九州港への外国籍クルーズ客船の寄港の誘致に取り組みます。

- 4・継続	クルーズ客船等誘致事業	2,392 千円
--------	-------------	----------

- 4・継続	北九州港市民 PR 事業（再掲）	14,580 千円
--------	------------------	-----------

3 効率的で安全・安心な港湾経営の推進

➤ 計画的かつ効果的な港湾施設整備・維持補修の実施

港湾施設の効率的な運営を行うため、維持管理計画を策定するとともに適切な整備・修繕を実施します。また、施設を有効活用するため、限られた財源を有効に活用し、中長期的な視野に立った取組みを実施します。

- 3・継続	港湾施設営繕費	195,946 千円
- 3・継続	港湾施設維持管理（長寿命化）計画策定事業	31,900 千円
- 3・新規	公共上屋長期維持保全工事事業（港湾特会）	70,469 千円
- 3・継続	機能施設維持費（港湾特会）	403,624 千円

➤ 北九州港の効率化推進・機能強化

北九州港全体としての利用促進を図るため、機能強化・振興策の実現に取り組みます。また、港運業者などの埠頭利用者として設立した協議会で検討した施設の集約・転用を具体化し、既存の港湾施設の効率的な利用を図ります。

- 3・継続	利用しやすい港づくり懇話会運営事業	401 千円
- 3・継続	既存コンテナターミナル効率化推進事業	4,708 千円
- 3・継続	既存施設の集約化促進検討協議会運営事業	1,819 千円

➤ 効率的で安全・安心な施設管理運営の促進

業務運営の効率化と経費削減を図るため、IT化の推進を図るとともに、港湾施設の管理運営業務等の委託について、業務内容の見直しを図ります。

また、安全・安心な施設運営を図るため保安対策等を実施します。

- 3・継続	港湾情報システム保守管理委託事業	30,570 千円
- 3・継続	北九州市港湾施設管理運営業務委託事業	85,988 千円
		（港湾特会）24,650 千円
- 3・継続	ひびきコンテナターミナル施設管理事業（港湾特会）	375,667 千円
- 3・継続	港湾施設保安対策事業	203,219 千円

➤ 港湾整備特別会計の経営健全化の推進

港湾整備特別会計の収入強化を図るため、分譲及び貸付による企業誘致活動に取り組みます。また、昨年策定した「経営健全化策」を着実に進めていきます。

4 市民・企業・NPO等との協働した事業展開

CO2削減のために、企業と協働して、北九州港を利用した輸送手段の転換等を実施します。

- 2・拡充	モーダルシフト推進補助事業（再掲）	18,000 千円
- 2・拡充		（うち拡充分 8,000 千円）
- 2・新規	国際 RORO 航路誘致事業（再掲）	6,500 千円
- 2・拡充	フェリーを活用した CO2 削減推進事業（再掲）	89,978 千円
- 2・拡充		（うち拡充分 6,978 千円）

「新・海辺のマスタープラン」に基づき、魅力的な海辺づくりや洞海湾の環境修復に取り組みます。

- 1・新規	新・海辺のマスタープラン推進事業（再掲）	11,000 千円
- 1・継続	市民参加による魅力的な水際線づくり事業（再掲）	3,300 千円
- 1・継続	市民参加による洞海湾の環境修復検討事業（再掲）	4,300 千円
- 1・継続		
- 4・継続		

### 3 事務事業の見直し等(主なもの)

#### (1) 行政評価による見直し

- 物流拠点都市づくり推進事業
- ・ 物流拠点都市づくり推進事業
  - ・ 物流企画事務管理費

事業統合や調査委託方法の見直しにより、経費の縮減を図ります。

- 北九州港集貨・航路誘致事業
- ・ ポートセールス事業
  - ・ 北九州港PR事業
  - ・ 北九州港官民連携事業
  - ・ 北九州港利用促進補助事業

広告掲載やPRツール作成手法及び調査委託方法の見直しにより、経費の縮減を図ります。

#### (2) その他の見直し

##### 港湾施設に係る維持管理経費の見直し

港湾施設の維持補修に係る経費について、日常的に発生する「補修」経費を確保のうえ、本来的な機能回復を図るための「修繕」について、対象箇所を集中・選択的に見直しを行うことで事業費の削減を図ります。